

定期検査中の 4 号機における原子炉建屋内の水漏れについて

<概要>

(事象の発生状況)

- ・ 定期検査で停止中の 4 号機において、原子炉を設置している建物の 1 階の床面に水が溜まっていることを確認しました。溜まっていた水の量は約 10 リットル、放射エネルギーは約 2.7×10^6 ベクレルでした。

(今後の対応)

- ・ 今後、原因について調査します。

(安全性、外部への影響)

- ・ 本事象による外部への放射能の影響はありません。

(公表区分)

- ・ 本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

平成 21 年 10 月 2 日午前 9 時 22 分頃、定期検査で停止中の 4 号機(沸騰水型、定格出力 78 万 4 千キロワット)原子炉建屋 1 階の床面に水が溜まっていることを当社社員が確認しました。

現場を確認したところ、配管洗浄のため分解中であった原子炉再循環ポンプの圧力測定用配管に設置している弁（906A 弁）の開放部の養生部*¹から水が漏れていることが分かりました。

ただちに当該配管につながっている元弁（905A 弁）を増し閉めし、午前 11 時頃水漏れが停止したことを確認しました。漏れた水は管理区域内にとどまっております。漏えい量は約 10 リットル、放射エネルギー*²は約 2.7×10^6 ベクレルで、拭き取りによる清掃を実施しました。

2. 今後の対応

今後、水が漏れた原因について詳細に調査します。

3. 安全性、外部への影響

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 1 養生部

漏水した場合の受け容器の設置、ビニール養生等を実施していました。

* 2 放射エネルギー

漏えいの拡大を防止するための堰を超える漏えい事象の場合、法令による報告対象として、放射エネルギーについては 3.7×10^6 ベクレルが目安とされています。

現場状況図

